

研究名：座位補助装置を用いた子どもの発達支援の後方視的調査

1. 研究の目的

近年、座位の姿勢を保つ力は、視覚、空間を把握する力、集中力、社会性やコミュニケーションスキルの発達など、子どもの様々な発達に関連していることが注目されるようになってきています。さらに発達の早期から、一人一人の子どもにとって心地の良い、安定した座位の姿勢を保てるように支援を行うことで、子どもの成長発達を促進する可能性が示されてきています。本研究では訪問看護支援の中で、オーダーメイドの座椅子による姿勢補助の支援を受けたお子様を対象として、実際の支援方法やその効果に関する情報をまとめ、将来の臨床応用に役立てることを目的としています。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：スペースなるの訪問看護支援にて2018年4月1日～2022年10月17日までに座位補助装置による発達の支援を受けたお子様
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年3月
- ③ 研究方法：オーダーメイドのウレタンフォーム性の座位補助装置による支援を受けたお子様の診療録データ（使用時の様子、使用機会や使用時間、使用による変化）の収集や、保護者の方に対するアンケートを通じて、座位補助装置による支援の調査を行います。

3. 研究に用いる情報の種類

病歴、年齢、身長、体重、運動発達（歩行状態、移動手段）、検査データ、座位補助装置使用時の写真や動画、座位補助装置使用時の様子、使用機会や使用時間、使用による変化、副作用等の発生状況 等

※お子様の氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報には調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4. 情報の公表

公開データベース：UMIN (<https://www.umin.ac.jp/>) に登録します。
研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについてお子様もしくはお子様の保護者の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2022年12月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でもお子様に不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター こころの診療部 乳幼児メンタルヘルス診療科
岸本真希子

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7645）

又は

スペースなる 梶原厚子

住所：〒183-0042 東京都府中市武蔵台 2 丁目 37-27

電話：042-300-1677

○研究責任者：

国立成育医療研究センター こころの診療部 乳幼児メンタルヘルス診療科
岸本真希子（責任者氏名）